

# 鈴鹿市民の コミバスをよくする会ニュース

(第13号・2014.6.2発行)

発行:(略称)コミバスをよくする会  
事務局(仮):辻井良和 方  
〒510-0234 鈴鹿市江島本町31-36  
電話 059-386-0529 FAX 059-386-0646

## 玉城町の元気バスを 見学してきました

いつでもどこへでも行けて無料

コミバスよくする会は、5月13日(火)に、三重県度会郡玉城町の元気バス(無料のオンデマンドバス)の見学会を行い、17人が参加しました。

玉城町では、社会福祉協議会(社協センター)西野事務長さんから、最初の無料バスから小型のオンデマンドバスに変更した理由と、現在の運営で効率も高まり、利用者も増え、健康保険の会計が楽になったことまで、まとまった話を聞くことが出来ました。

### 元気バス(無料バス)の目的は 高齢者の外出支援と生活支援

西野事務長さんが話された中で、一番大切だと感じたことは、家に引きこもりがちな高齢者に、外に出て人に会う機会を多く持ってもらう、介護施設を利用しなくて済むように、健康に生活してもらうことが目的だと話されたことでした。



医者に通うのも、買い物に行くのも、健康に暮らしていくための当然の社会生活です。高齢者が健康になれば、健康保険の費用が減り、町の財政も楽になり、介護のための費用も節約できるのですから、町民も町財政も良くなる、一石二鳥の無料バスです。

高齢者だけでなく、学校に通学する子ども達も利用します。仕事に出かけるサラリーマンも駅まで乗ることが出来ます。町内だけの交通機関ですから、買い物は玉城町の中で行い、町内のお店に経済効果が出てくると話されました。お店に利益が出れば、町民税も増えて一石三鳥?です。 [辻井良和]



## スーパー前でアンケート活動

マックスバリュ中央通り店様のご厚意により、5月24日、店頭でアンケート活動を行いました。朝9時半から午後3時半まで、9名の会員が交代で「高齢者の生活交通を考えましょう」と呼びかけながら行いました。中央通り店はクルマで買い物に来る人が多いのですが、若者から高齢者まで関心は高く、115人の方に記入していただきました。

★5月の始めに、長沢町のシャクヤク畑へ、シャクヤクの花をもらいに出かけました。商工会議所と農家の共同事業で、シャクヤクの種芋が製薬会社に売られるので、花が咲いたら早く収穫するのだそうです。★自動車があるので、市報に載った記事で申し込みをして、5月5日に現地に出かけ、きれいな花だけ選んで一抱えほどもらってきましたが、二人の高齢者仲間を誘いました。★鈴鹿市が、無料のオンデマンドバスを運行していたり、コミバスが無料なら、花好きの方が、きっと沢山参加されたのと思いきや、江島まで帰ってきました。★鈴鹿市は、海から山まで広い市域で、出かける所はどこにでもあります。どこへでも出かけられるバスは、市民の健康と幸せを大きく広げてくれると思います。

発車オンライン

## 見学会 感想文 「元気バス」は「高齢者の足」を認識

5月13日、昨夜の雨もあがり晴天の中 玉城町へ、見学と学習に参加する。

社会福祉会館到着後、社会福祉協議会事務局長よりスライドを使いながら詳しく説明がある。オンデマンド方式の説明がある。

オンデマンド方式とは路線を持たない乗り合いバス。運転手を入れて10名乗車ワゴン車であり、現在3台が運行されていると話される。予約制で、当日30分前から、2週間先まで予約できると話される。予約には、スマートフォンとタッチパネル（銀行などにある）また電話の3つの選択肢がある。高齢者は7割が電話であると説明。

特に自分が関心を持ったのは、玉城町の「元気バス」という名前。高齢者が社会福祉会館で開かれている介

## 見学会 感想文 交通弱者の立場での細かい配慮に関心

五月晴れのもと、レンタルのマイクロバスに乗せてもらって一路玉城町へ、車窓より田植の後一面の緑と、山々の新緑が目美しく、ドライブ気分でした。

点在する住宅地の高齢者、交通弱者の交通手段として、「福祉バス」として、無料の運行をされた様ですが、利用者も伸びず、種々の問題点が出てきて、現在は、高齢者の生活に合ったシステムの、オンデマンドバス（予約制）「元気バス」を運行しています。

バス停は町内68ある自治会をすべてカバーし、147ヶ所もあると言う事です。一つの町で、よくまあと感じました。いかに高齢者、交通弱者の立場に立って、細かい配慮がなされているか、すごいことです。

ICTを利用して、バス予約のみならず、安心外出サービス、安全見守り、安全情報発信サービスも合わせて持っているようです。

この事業は社会福祉協議会が、バス運行管理をしていて、改善改良をスタッフ一同、運転、予約オペレータもスタッフが関わっていると、聞きました。

私が驚いた事は、総て無料と言うことと、会館に着いて玄関で迎えて下さった方が、車椅子使用で、健常者と全く変わらない程の動きでした。その様な方達が先頭を切って、町民のため、骨身を惜しまず考え行動されていることに二度びっくり。

今回のバス視察は有意義でした。鈴鹿「コミバス」も頑張りましょう。 [利藤 一子]

他の皆さんにも感想文を頂いています。次回紹介します。

護予防教室への参加者が年々増えていると話されたのは興味深かった。やはり「元気バス」によって高齢者の活動が外へ向かわれてきたと思います。

「元気バス」が走ることによって、認知症の徘徊もみづかり無事保護されたと話される。また他の効果として、「元気バス」によって病院での外来受診が増えて、入院される方が減って、6千万円の医療費を減らすことができたと話される。

「元気バス」費は年間2千万円であり、他のスーパー・公民館・寺・病院とかなりの場所へ行かれるので、経済効果もあるのではと思った。自宅までは行かないが、近くの乗り場まで来るので便利と聞く。70才以上の利用者が全体の71%である。やはり「元気バス」は高齢者の足であることを認識しました。

この見学会は、本当に良かったと思いました。行政の目の向け方一つで大きく変わることを痛感しました。 [中川 一春]

## 寺家、南玉垣で生活交通を考える懇談会

寺家町老人会（4月22日、約50人）の集まりと、南玉垣町老人会（5月2日、約25人）の集まりで、30分ほど時間をいただき、DVD上映とコミバスの会の説明を行わせて頂きアンケートをお願いしました。「クルマに乗れないので実現してほしい」「将来を考えると必要だ」「地域性に合っていると思う」などの感想が出されました。ご協力ありがとうございました。



寺家町老人会会合で(4月22日)



南玉垣町老人会会合で(5月2日)

★「私の街にもコミバスを走らせて」の声を広げ、会員を増やし、みんなの願いを実現させましょう。